

第130回小金井市新型コロナウイルス感染症対策本部部会会議録	日時	令和4年7月13日（水） 9：25～9：50	場所	議場
出席者	西岡市長、小澤副市長、大熊教育長、天野企画財政部長、藤本庁舎建設等担当部長、加藤総務部長、西田市民部長、中谷福祉保健部長、大津学校教育部長、梅原生涯学習部長、柿崎環境部長、堤企画政策課長、宮奈地域安全課長、石原健康課長、佐々井新型コロナウイルス感染症対策担当課長、田部井都市計画課長、廣田広報秘書課長、宮腰地域安全係長			
付議事項	1 新型コロナウイルス感染症への対応について 2 各部連絡事項			
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都モニタリング会議資料1 ・東京都モニタリング会議資料2 ・(多摩府中保健所) 新型コロナウイルス感染症対策に伴う地域保健活動について ・新型コロナウイルス感染症に対する対応 ・新型コロナウイルスワクチン接種状況及び接種促進について 			
<p>(進行：福祉保健部長)</p> <p>(市長)</p> <p>・感染状況であるが、第7波に突入し、急激な勢いで感染者が増加しており、昨日は火曜日にもかかわらず1万人を超えた。政府としては、現状、行動制限はおこなわない状況であるが、感染症対策の徹底が必要との見解である。小金井市としても、引き続き基本的な感染症対策の徹底とワクチン接種体制の構築に全力で取り組んでまいりたい。</p> <p>・ワクチン接種については、接種率と利便性向上のため、急遽、予約なし接種を実施することとともに、3回目未接種者に対しての勧奨通知を送付する予定である。また、7月にピークを迎える、60歳以上の4回目接種については、医師会、薬剤師会、訪問看護連絡会との連携のもと、対応をお願いしたい</p> <p>・政府から、59歳以下の4回目接種を検討する旨の報道もなされている。今後、情報収集に努めるとともに、接種体制の構築に向けての検討をお願いしたい。今後、ワクチン接種業務で急遽、職員の力を借りなければならない事態が起こりうる。緊急に応援体制が必要な場合は、応援体制等、協力をお願いしたい。</p> <p>1 新型コロナウイルス感染症への対応について</p> <p>(健康課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都モニタリング会議資料(7月6日時点の感染状況と医療体制の分析、専門家によるモニタリングコメント) について説明。 ・多摩府中保健所からの資料を基に説明。感染症対策における保健所業務がひっ迫しており、地域保健活動を縮小していることから、ご理解をお願いしたいとのことである。 ・資料「新型コロナウイルス感染症に対する対応について」を基に説明。シルバー人材センタ 				

への補助事業として、7月19日（火）から自宅療養者等買物支援事業を開始予定。また、自宅療養者等日常生活品支援、医療機関発熱症状者搬送実績の報告、東京都の物資の支援についても滞りなく、実施されている旨、説明。

（新型コロナウイルス感染症対策担当課長）

- ・資料「新型コロナウイルスワクチン接種状況及び接種促進について」を基に説明。4回目接種券の発送については、順調に発送できている。接種状況については、3回目が伸び悩んでおり、接種率は対人口の7割、特に30代以下の接種率が6割未満となっている。7月に入り、急激な感染拡大に伴い市内医療機関の体制もひっ迫してきている。新規感染者の4割が20代～30代の状況であるため、30代以下の年代へのワクチン接種促進策として、本日7月13日（水）～8月7日（日）の間、大規模接種会場における、予約なし接種を実施する。また、合わせて、3回目未接種者への接種勧奨通知を発送することとした。対象は約2万1千人、発送は、7月22日（金）を予定している。

（市長）

- ・現時点で、職員の応援体制の必要はあるか。接種勧奨通知の対象も2万1千人とのことである。

（新型コロナウイルス感染症対策担当課長）

- ・現時点では必要はないと考えている。応援体制が必要な際は、相談させていただきたい。

（市長）

- ・学校、子育て施設、福祉施設における感染状況について、ご報告いただきたい。

（学校教育部長）

- ・小学校において、4校が学級閉鎖、1校が学年閉鎖の状況である。

（教育長）

- ・現状の学級閉鎖の数は、これまでの感染状況の中で最も多い数となっている。

（子ども家庭部長）

- ・学校の状況もあり、学童保育所については、先週、1カ所を閉めた。今週は状況を踏まえ、判断していきたい。

（福祉保健部長）

- ・高齢者、障がい者施設等、直近でクラスター等の感染の報告はない状況である。ただし、病

院の一部で職員の感染があり、緊急体制を見合わせているとの情報を聞いている。引き続き、担当において、各施設や病院の状況について、逐一、情報を集約してまいりたい。

(市長)

- ・第7波においても、自宅療養者への支援の必要性がより高まってくる。買物代行含め、支援体制の構築に努めていただきたい。この分野においても、職員の応援体制が必要であれば、ご相談いただきたい。

(総務部長)

- ・職員の感染状況である。会計年度任用職員、正規職員含めて陽性者の数は、4月は9名、5月は6名、6月は2名、7月は昨日までで2名の状況である、第6波の際の職員の感染状況は、1月は9名、2月は48名、3月は21名との推移であった。各職員、職場内外において、感染予防を行っていただいているが、2月の時は家庭内感染が多かった印象がある。また濃厚接触者も30名程いたため、瞬間的に70名以上が出勤できない状況があった。第6波の際は、濃厚接触者の場合、テレワークで対応する職員もいた。今後の感染状況の推移について注視しつつ、一つの職場に集中的に感染者等が出た場合等において、各職場において備えていただくとともに、相談にも応じていきたい。

(市長)

- ・総務部長の報告のとおり、各職場において備えていただくとともに、職員体制等、早めの情報共有、報告をお願いしたい。

2 各部連絡事項

(教育長)

- ・勸奨通知の発送業務等、職員の応援体制が必要な場合は、ご相談いただきたい。

(以上)